

九州沖縄地域における食品産業の動向と特徴

後藤一寿

（九州沖縄農業研究センター）

Kazuhisa Goto :

Trend and Feature of Food Industry in Kyushu Okinawa Region

1. はじめに

九州沖縄地域はわが国の重要な食料生産基地としての役割を担い、他地域に比べ食品産業の占める割合も高い。中でも食品製造業の業績は顕著で、製造品出荷額は4兆円に上り、製造業全体の出荷額の2割を占めている。そこで本稿では、経済産業省が毎年実施している工業統計調査の結果を手がかりとし、九州沖縄地域における食品産業の動向とその特徴を明らかにする。

2. 九州沖縄地域における食品産業の動向

1) 九州沖縄地域の食品工業の全国的地位

2001年の従業者数4人以上の事業所に対する調査結果によると、全国の事業所数が42,552、従業者数が1,266,555人、製造品出荷額が34兆円であった。九州沖縄地域では、事業所数6,538、従業者数169,033、製造品出荷額4.2兆円であった。従業者3人以下の事業所では、2000年の調査結果によると、全国の事業所数が20,000、従業者数が44,434人、製造品出荷額が2,900億円であった。九州沖縄地域では、事業所数3,659、従業者数7,296、製造品出荷額530億円であった。

すなわち、九州沖縄地域の食品工業は、全国の食品工業に対し約1割弱の比率を占めていることが明らかとなった。また特に従業者3名以下の零細企業が多く全国比で約2割を占めている。

2) 九州沖縄地域の食品工業の県別動向および内容

九州沖縄地域における県別の産業別製造品出荷額の割合から、食品工業が1位を占める県は、鹿児島、佐賀、宮崎、沖縄であり、2位に位置する県は福岡、大分、熊本、長崎であった。いずれも九州沖縄地域における重要な産業として食品工業が位置づけられている様子を物語っている。

産業細分類による各県ごとの事業所数の上位をみると、「豆腐・油揚げ製造業」および「生菓子製造業」が上位に位置している。また、際立った特徴として、長崎の「めん類製造業」および鹿児島の「製茶業」の多さが特徴的である。事業規模では、いずれの県も6～7割が従業者3人以下の事業所で占められており、非常に零細な事業所が多いことをあらわしている。

各県の製造品出荷額の上位では、福岡の「ビール製造業」および鹿児島の「肉製品製造業」「配合飼料製造業」がいずれも1,500億円を超える巨大産業であることがわかる。大分、熊本では「蒸留酒・混成酒製造業」がもっとも大きな規模を占めている。同様に鹿児島、宮崎も500億円を超える出荷額を示している。沖縄は、「砂糖製造業」がもっとも大きな産業であり、これはサトウキビ生産に由来する際立った特徴といえよう。

3. 九州沖縄地域における食品産業の特徴

九州沖縄地域の食品産業（食品工業）の特徴をまとめ

ると、次のように整理できる。

1) 九州沖縄地域は食料加工供給基地である

九州沖縄地域における食品工業は、全国においても高いシェアを示しており、農畜産物を中心とする食料生産基地のみではなく、食料加工供給基地としての役割も大きい。

2) 大規模工場と零細工場の二重構造が進展している
従業者数の比較において、従業者数3人以下の家族経営的な零細事業所が大半を占めると同時に、一部の大事業所における経済活動が地域の食品工業を支えているという二重構造が進展している。また、零細、大規模を問わず事業所数の減少傾向など同様の動向を示しており、今後、零細食品工業の担い手問題や企業合同による経営の合理化問題などの解決が求められることを示唆している。

3) 地場の食品工業が振興している

九州沖縄地域の食品工業は、地場の食品工業の振興が著しい。すなわち、北九州を中心とする「めん類製造業」長崎、熊本を中心とする「水産食料品製造業」鹿児島、宮崎を中心とする「畜産食料品製造業」大分、熊本、鹿児島、宮崎を中心とする「蒸留酒・混成酒製造業」鹿児島における「製茶業」沖縄における「砂糖製造業」などである。

4) 食料素材供給産業の比率が高い

食料素材供給産業の比率が高く、高度加工型食品工業の比率が低い。たとえば長崎のそうめんを代表とする「めん類製造業」、鹿児島の「製茶業」などは他産地ブランドで販売される食料素材として知られており、食料素材供給産業の例である。このことはすなわち九州沖縄において独自ブランドの確立が急務であることを示唆する特徴といえる。

4. まとめ

九州沖縄地域における食品工業の動向と特徴を整理してきた。特に、食料加工供給基地としての特徴を明らかとし、産地と連携した食品工業発展の可能性を示唆する結果であった。

また、今回の分析では、食品工業における原料調達状況や販売先の動向までは、調査の構造上掴む事ができなかったため、あらためて調査資料を収集し、九州沖縄地域における食品工業の原料調達構造を明らかとしたい。